

Dr.からのアドバイス
こんなとき
どうしたら…

がんの中で日本人が一番かかりやすいのは胃がんです。胃がんといえ
ば、手術治療が一番ですが、手術できない場合や、再発する場合もあ
ります。今回は、胃がんの再発予防や進行防止のための抗がん剤治療
についてお聞きしました。

抗がん剤は本当に有利なのですか？ 脱毛などの副作用が心配です。

Q 元来健康でしたが、健診で胃の異常を発見され、精密検査の結果、胃がんと診断されました。失意のどん底の中、平成19年末、胃がんの手術を受けました。主治医から「手術でがんは完全に切除できたが、病期はステージIIIのため飲み薬の抗がん剤をだします」と言われ、抗がん剤？また不安の種を植え付けられました。抗がん剤を使った方が本当に有利なのでしょうか、脱毛などの副作用も心配です。

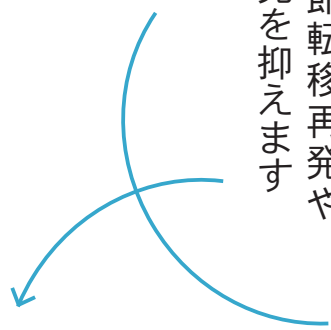
(65歳 男性)

A いままでには胃がん手術後の抗がん剤投与が、がん再発を抑え、生存率向上に貢献するのかわか明らかなではありませんでした。何となく抗がん剤を使った方がいいだろう程度の憶測で使われていたというのが事実です。すなわち胃がん手術後抗がん剤投与が有益であるか否かをきちんと科学的に証明できるデータ（エビデンス）がありませんでした。ところが2001年から全国の主要施設にてACTZ-GC（アクトジシー）という大規模な臨床試験が行われました。私たちの岐阜市民病院も参加しました。

リンパ節転移再発や 腹膜再発を抑えます

これは胃がんの病期ステージII
〜IIIで根治手術が行われた1059
人の患者さんを対象に、手術だけ
を行う群（530人）と手術後T
S・1（ティーエスワン）という飲

み薬の抗がん剤を1年間で服用する群
（529人）に無作為に分類され手
術後の生存率が比較されました。そ
の結果が昨年（平成19年1月）に米
国での最も権威あるASCO・GI
という学会で日本から初めて世界に
向けて発表され、同年2月には国内
の日本胃癌学会総会で発表されまし
た。胃がんの病期ステージII〜IIIで
根治手術された患者さんにはTS・
1（ティーエスワン）という抗がん
剤を1年間で服用してもらった方がリ
ンパ節転移再発や腹膜再発を抑え生
存率を向上させるという結果でし

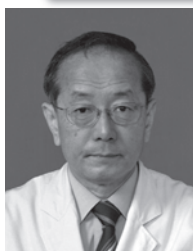


た。3年生存率が抗がん剤投与した
場合80.5%、手術のみの場合70.1%と抗
がん剤投与の方が有利という結果で
した。その結果は世界中に注目され
ています。

それ以来、胃がん病期ステージII
〜III根治手術後にはTS・1（ティ
ーエスワン）を1年間で服用してもら
うことが胃がん治療の標準治療とな
っています。ただし、患者さんの年
齢が75歳以下で、心臓、肝臓、腎臓
などに重大な合併症がないという条
件のもとです。したがって、ご
質問の患者さんには術後1年間TS
・1（ティーエスワン）の内服をお
勧めします。

ご心配の抗がん剤の副作用です
が、TS・1（ティーエスワン）は
よく心配される脱毛という副作用は
ほとんどみられません。数%に重度
の食欲不振、下痢、口内炎などの症
状がみられる程度の安全な薬です。
いちおう投与年齢は75歳までが一
つの目安ですが、75歳以上でもとも
お元気な方にはTS・1（ティーエ
スワン）は投与可能です。これから
どんどんよく効く薬の登場で、胃が
ん治療成績は手術と抗がん剤の組み
合わせ（たとえば手術前後に抗がん
剤を投与する）により益々改善され
ると思われれます。

今月のドクター



岐阜市民病院副院長
副院長兼医療安全推進部長
種村 廣巳氏
(たねむら ひろみ)

昭和48年岐阜大学医学部医学科卒業
平成3年岐阜大学医学部第2外科助教授
平成3年岐阜市民病院消化器外科部長
平成12年岐阜市民病院副院長
消化器外科特に胃がんの手術療法と抗がん剤治療を専門としJCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）胃がん外科グループ施設研究責任者を兼ねる